

安倍総理の国会答弁

「拉致問題の解決なくして経済協力を行うことはない」と言明。自民党の中にも、日朝友好議員連盟の議員は、拉致よりも、北と国交を仲良くと言う連中が何人もいる。安倍さんは言う「金委員長は全て知っている事を話し、全ての拉致被害者を一日も早く帰国させよ」と今もウソ言い核開発を続ける北に対しての安倍さんを支持しよう。

米国はダマサレル

北が米国に遺骨を返したのを受け、トランプは金をホメている。核の脅威はまったく解決進歩していない。

御嶽山と自衛隊

すもうの御嶽海の活躍で御嶽山を想い出す人もいるだろう。四年前の噴火当日、現地の第十三普通科連隊の隊長は合同演習でアメリカに居た。隊長不在の中、初動対処隊四十人が先ず出動し、夜半までに二百人が後続、翌朝早々にはヘリ、火山ガス対処要員と共に、捜索救助を行っていたのだった。自衛隊は、災害等の不測の事態に一時間以内に行ける部隊として「初動対処部隊」を訓練し、全国陸自駐屯地に八千人が常時二十四時間体制で待機している。いつ来るかわからない、地震、想定外の大豪雨で国民の命を救い守る自衛隊を憲法違反と言わせぬよう、憲法改正し、自衛隊を明記しよう。

救急車変な使い方も

平成十七年救急車の到着時間は六、五分だったのに、平成二十七年の現場到着時間は八、六分と時間が大きく遅くなっているのだ。平成二十七年中の出動回数は、全国六百万件を超えた。一日あたりは、五、二秒に一回の割合で出動しているのです。

本当に救急車必要なの

こんな電話もあるという、病院で待つのがイヤなので、救急車を呼んだ人。ヘルパーの代わりに救急車を呼んだ。今日入院予定日だから救急車で行きたいと。本当の話。入院の必要がない人の出動は半数もあり、緊急対応必要無い人も二割もある。食いすぎた。飲みすぎた。上階の部屋がうるさい。犬がうるさい。電話一本で誰かが何とかしてくれる！こんな感覚がどんどん日常化したら、日本の非常事態は、災害や侵略が起きる前に日本は壊滅してしまうのではないか。悪魔のささやきに負けない、人を思いやる誇りある日本人でありたい。

遠慮せず一一九番を

具合の悪い時はお互い様です。一刻を争う時もあります。善意の国民の為の装置です。命を守る救急医療ご利用を。

日本は今 少子化？無子化？

昨年一年間で生まれた日本人の子供は九十四万人に落ち込み、来年は九十万人を割るだろうと言われ、確実に日本消滅への道を歩んでいる、安倍内閣も対策を色々言っているが、国民に子育ての苦勞を楽しみ母性、女性が復活せねばいくら金銭で釣ろうとしても、政策は活きないだろう。でも結婚した若い夫婦は何人も子供を生んで、自転車に三人も乗せて、風を切っている、子連れの親子も各所で見かける。何故に人口減少がおきているのかを見てみよう。

未婚者の急増

いろいろな事情があり、婚期をのがす男女が増えています。職場でもすぐセクハラ等と言われ、交際も難しい昨今。ある研究所の調査によると、二十五才～二十九才の男の五〇％女性の三〇％に配偶者も、交際相手もないという。この年齢は就職活動で大変であるが、面倒くさい人もいるのだろう。又は理想を求め、「運命的出合い」をいつまでも期待している人や、付き合っているけれど結婚に踏み切れないで、何年もたってしまう人もいるのだろう。未婚が良いとか、悪いとか他人の事を言えないが、杉田水脈さんが同性愛の人達をマスコミはあまりにも守れと言いつつ、と発言すると袋タタキに合うなど、日本そのものが何か違う流れに向い、本来の社会全体が温かく若者を見守る日本でなくなるのではと。

結婚支援国民運動に

足立区は結婚に関する支援は、式を庁舎で挙げる等しているが、婚活に具体的な取組はしていない。鹿沼や新潟の自治体から共同で見合いを提案がある、足立区は？

人生、何度でも立ち直れる。 人生はドラマ

だれでも仕事や人生において突如、窮地に陥ることがある。「なぜ悪条件ばかり重なるのか」こんなときに事故に遭うなんて、といった愚痴がついこぼれる。人生80年、平穩のうちに過ぎればそれにこしたことはないけれど、そうはうまく運ばない。時に悲劇に見舞われるのも人生である。

劇と言えば日常、私たちはテレビや書物を通してたくさんのドラマを楽しんでいる。おもしろいドラマの条件は、主人公の目の前に高い壁が立ちはだかっていること。そして主人公が絶体絶命のピンチから脱出し、大逆転するところに気分爽快、ドラマの醍醐味を味わっているものである。

とすれば、現実には危機に直面したとき、これもまたドラマの舞台、自分をその主人公に見立ててみたらどうだろう。不屈の闘志で事態を打開できればまさにヒーロー、観客ではなく主人公としても極上の喜びを味わえるのではなからうか。

嘆くのはほどほどにして前向きに。逆境こそ最高のドラマの始まりだととらえ、まずは主人公らしく、自分の足で立ち上がることから始めよう。

今は辛くても、それは永遠ではありません。
一人じゃないよ。

足立区政務活動事務所

090-4073-5145

せぬま 剛

足立区千住宮元町10-1



祝日には国旗を掲げよう
国旗販布・取付お申込は **せぬま 剛** へ